

2019年度 履修の手引き

《経営学部国際ビジネス学科 2～4年生》

保存版

【目次】

はじめに	1
1. 進級制限	1
2. 履修上の注意点	2～3
(1) 単位制度		
(2) 科目名および配当年次		
(3) 授業科目群と科目区分		
(4) 科目番号		
(5) 履修登録単位数の上限		
(6) 再履修科目		
(7) 履修できない科目		
(8) 集中講義科目		
3. 履修登録に関するスケジュール	4
(1) 履修登録		
(2) 履修登録の変更		
(3) 履修登録の確認		
(4) 履修登録の削除		
4. 他学部・他学科科目履修制度の単位認定	4～5
5. 検定試験取得級の単位認定	5
6. 入学後に他大学等で修得した単位の認定	5
7. GPA 制度	6
8. 実践英語科目の履修	6

経営学部国際ビジネス学科 卒業要件
経営学部国際ビジネス学科 カリキュラム

カリキュラムは
学生用ページ→2019年度履修登録ページ→
所属学科の履修登録に必要な資料（カリキュ
ラム表）に掲載

**「履修の手引き」はいつでも参照できるように1年間保存の上
後期履修ガイダンス時にも持参してください**

はじめに

この『履修の手引き』には、皆さんが履修登録に際して留意すべきこと、また卒業するための条件や資格の取得等に必要な単位をどのように修得すればよいかが記載されています。

各ページを確認し、内容を十分に理解した上でそれぞれの手続きを行なってください。もし不明な点があれば、教務課または演習担当者までお問い合わせください。

(1) 履修登録の前に

大学ではすべての結果が自分の責任になります。4年間の学修に関しても当てはまります。自分が受講したい科目を自分で選択するなどして、自分の時間割を自分自身で作成しなければなりません。選択した科目の登録手続き（履修登録）も自分で行ないます。

配付される『シラバス』およびこの『履修の手引き』を参考にしながら自主的な学修計画を立ててください。

(2) 計画的な履修登録・学修の理由

大学に4年間在学したら自動的に卒業できるというわけではありません。本学での卒業要件単位（卒業するために必要な単位）は124単位です。ただし、この124単位はあくまでも最低限の単位数です。したがって、これを超えて履修することもできます。

4年間大学に在学しても、この卒業要件単位数を下回る単位しか修得していない場合は、卒業できません。また、卒業要件単位数を超える単位を修得していたとしても、すべての条件を満たしていない場合は卒業できません。4年間の学修を計画的に行なわなければ、就職先が内定していたとしても、卒業要件未充足のため卒業できない、ということが起こります。

1. 進級制限

本学では、2年次から3年次への進級時に進級制限を設けています。

(1) 進級の条件

次の条件を満たしていなければ、原級留置（留年）となり、3年次に進級できません。

2年次終了時点で修得単位数が40単位以上、かつ「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」の単位を修得していること

(2) 仮進級の条件

「進級の条件」を全て満たしていない場合であっても、次の「仮進級の条件」を満たしていれば、3年次に仮進級することができます。

2年次終了時点で修得単位数が30単位以上40単位未満で、「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」の単位を修得していること

ただし、3年次終了時の状況によって、4年次に進級できる場合と進級できない場合（3年次に留め置き）があります。

<仮進級者が4年次に進級するための条件>

3年終了時の修得単位数が50単位以上であること

2. 履修上の注意点

(1) 単位制度

単位制とは、一定の基準により単位が割りふられた授業科目を履修し、平素の学修状況および所定の試験またはレポートなどによる成績評価の結果、合格することによりその授業科目の単位を修得していく制度です。

＜表 1＞成績評価の基準

素点	評価	単位修得
90点～100点	A+	合格 (単位を修得 できます)
80点～89点	A	
70点～79点	B	
60点～69点	C	
0点～59点	D	不合格 (単位を習得 できません)
欠席・棄権	K	
失格	S	

各授業科目の単位数は巻末のカリキュラム表に掲載されています。

(2) 科目名および配当年次

自分に適用されるカリキュラム表における開講科目の配当年次が、在籍学年より上級学年の科目は履修することができません。配当年次が、在籍学年および下級学年の開講科目は履修することができます。

(3) 授業科目群と科目区分

授業科目は、「全学共通科目」、「実践英語科目」、「専門科目」の3つの群からなっています。またそれぞれの科目は、次の3つに区分されます。

必修科目：卒業するまでに必ず単位を修得しなければならない科目

選択必修科目：指定された科目の中から所定の単位を修得しなければならない科目

選択科目：上記以外の科目で、卒業に必要な単位として算定される科目

(4) 科目番号

各科目には、それぞれ科目番号がついています。学修段階や履修の順序を示す番号で、カリキュラムの体系的な履修を確認でき、体系的な履修を促すことを目的としています。科目番号の見方は以下のとおりです。

例：I B 1 1 01 = 経営学 I

科目の属性 (別表 1 参照)	科目の順次性 (別表 2 参照)	カリキュラムにおける科目の位置づけ (別表 3 参照)	科目区分内での 通し番号
IB(国際ビジネス学科)	1(1年次または1・2年次に配当されている科目)	1(基礎科目)	01(区分内の1番目の科目)

この部分を見れば自分が履修可能かどうか分かります。1～4は番号が若いほどカリキュラム内でコアとなる科目として位置づけられています。

＜別表 1＞科目の属性

記号	付加情報	記号	付加情報
LA	全学共通科目	EC	教育学部専門科目
RB	地域ビジネス学科専門科目	TL	(中高)教職課程科目
HH	人間学部専門科目	IB	国際ビジネス学科専門科目
EL	国際ビジネス学科実践英語科目		

〈別表2〉科目の順次性

番号	付加情報	番号	付加情報
1	1年次または1・2年次に 配当されている科目	4	4年次に配当されている科目
2	2年次または2・3年次に 配当されている科目	9	「海外研修A～C」 「資格取得科目」
3	3年次または3・4年次に配当されている科目		

〈別表3〉カリキュラムにおける各科目の位置づけ

(全学共通科目)

番号	付加情報	番号	付加情報
1	東邦基礎力科目	3	スキル科目
2	教養科目	4	キャリア科目

(専門科目)

番号	付加情報	番号	付加情報
1	基礎科目	4	関連科目
2	基幹科目	5	関連科目
3	展開科目		

(5) 履修登録単位数の上限 (CAP)

本学科では、1～4年生について履修登録単位数の上限を前・後期それぞれ22単位としています。22単位を超えて履修登録することはできません。ただし、集中講義科目は22単位に含まれません。

(6) 再履修科目

再履修とは、不合格になった科目を次学期以降に再び履修することをいいます。

【再履修しなければならない科目】

卒業の要件となる必修科目、実践英語科目 (24単位に満たないとき)

【再履修科目の優先履修】

再履修科目と在籍学年の配当科目が時間割上重なっている場合は、配当年次の低い再履修科目を優先して履修する必要があります。

【選択必修科目の再履修】

選択必修科目は、自分自身で履修登録する必要があります。

(7) 履修できない科目

異なるカリキュラムの科目や、他学部・他学科の科目 (「他学部・他学科開放科目」は除く) は履修できません。また、単位を既に修得した科目を再度履修することはできません。

なお、同一名称で複数クラス開講されている科目は、授業担当教員や開講時限が異なっても、重複して履修することはできません。

(8) 集中講義科目

科目名	担当者	日程
海外インターンシップ	田村 豊	未定

「入門コンピュータ」再履修者向け集中講義 ※2017年度・2016年度生

「入門コンピュータ」単位未修得者に対するクラスは、今年度は全て集中講義で行います。本年度の日程は以下の通りです。日程をよく確認して他の用件をいれないこと。集中講義ですので、1日でも欠席した場合は単位を認めません。特に、4年生の「入門コンピュータ」未修得者は、1日でも欠席した時点で来年3月の卒業がなくなることを良く認識しておくこと。

科目名	学年配当	担当者	日程
入門コンピュータ	1年	高木 靖彦 杉谷 正次	7月29日(月) 8月6日(火) 8月8日(木) 8月9日(金) 8月10日(土) 2.3.4限

3. 履修登録に関するスケジュール

(1) 履修登録

履修登録はコンピュータを利用して行ないます。履修登録の時間は指定されていますので、ガイダンス日程表で確認してください。

(2) 履修登録の変更

以下の期間に履修登録の追加・取消をコンピュータで行なうことができます。ただし、変更が認められない科目もあります。TOPOS または掲示でお知らせしますので、必ず確認した上で変更してください。

期 間	時 間	場 所
4月8日(月)～4月12日(金)	9時～16時30分	L棟PC

(3) 履修登録の確認

履修登録が正しく行なわれたかどうかを以下の期間に確認してください。掲示での連絡や履修登録結果の配付はしませんので、必ず TOPOS で確認してください。内容に誤りや不明な点があった場合は、必ず教務課に申し出てください。この確認期間中に申し出がない場合は、履修登録の手続きが全て正しく完了したものとみなします。

期 間	時 間	場 所
4月15日(月)～4月19日(金)	9時～16時30分	教務課窓口

(4) 履修登録の削除

2011年度より GPA 制度を導入したことにより、履修登録削除期間を設けました。履修を削除すると、履修登録単位数は減りますが、GPA の値は大きくなります。(GPA 制度の(3) GPA の計算方法参照)以下の期間に、必修科目以外の科目の履修登録の削除を認めます。ただし、一度削除した科目を復活させることはできませんので、注意してください。集中講義は、5回目の授業までは、履修登録の削除が行えます。また、やむを得ない理由により10回以上の出席が困難な状況と認められる場合も履修登録の削除が行えます。

期 間	時 間	場 所
4月15日(月)～5月17日(金)	9時～16時30分	教務課窓口

4. 他学部・他学科科目履修制度の単位認定

(1) 他学部・他学科科目履修制度とその目的

「他学部・他学科科目履修制度」とは、自分の所属する学部学科以外の科目を履修する制度のことです。他学部・他学科科目履修で修得した単位は、国際ビジネス学科の卒業要件単位数には参入できませんが、自分の興味や目的に応じて科目を選択し、積極的に学ぶことで、自分自身の可能性を広げることができます。履修する科目の単位数は各学期に履修登録できる上限単位数(22単位)に含まれます。

(2) 受講料

受講料は無料です。

(3) 2019年度 受講可能科目

開設学部	科目名	担当者	開設期	単位数	配当年次
人健康学部	栄養学	谷村 祐子	後期	2単位	2年

(4) 履修手続き

ガイダンスにて案内します。

(5) 単位認定など

- ・履修できる単位数：在学期間中合計 16 単位まで
- ・卒業要件として認められる単位数：なし

※履修する科目の単位数は各学期に履修登録できる上限単位数（22 単位）に含まれます

5. 検定試験取得級の単位認定

本学では、検定試験合格のための努力と成果を評価し、在学中に合格した検定級に相当する本学開設の科目の単位を認定します。

(1) 単位認定申請手続き

〈対象となる検定試験〉

単位認定の対象となる検定試験および認定科目は愛知東邦大学学生用ページの規程のとおりです。この一覧表にある検定試験のみ単位認定を行ないますので、検定試験の種類を確認の上、申請手続きをしてください。

〈申請方法〉

本学所定の申請書に必要事項を記入して、「検定試験合格証書」または「合格通知」のコピーを申請書に添付し、教務課へ提出してください。また、同一の検定で複数の級を取得している場合は、取得した最も上位の級にて手続きを行なってください。

〈検定取得級の認定範囲〉

各種検定試験で上位級を取得している場合は、その級の単位を認定するとともに同一検定試験の下位級の単位も同時に認定されます。

〈申請期間〉

各種検定試験合格発表後 1 ヶ月以内です。この期間以降は申請しても単位認定はされません。希望者は必ず期間内に手続きしてください。

〈認定科目の単位修得学期〉

認定された単位は、その検定試験の実施日を基準にして、本学における前期または後期の修得単位とします。

6. 入学後に他大学等で修得した単位の認定

愛知県単位互換事業開放科目（愛知県内の四年制大学）および科目等履修生開放科目（その他の大学）で修得した単位が、本学の単位として認定される場合があります。ただし、愛知県単位互換事業開放科目の履修は、2 年生以上が対象となります。

(1) 当該科目に相当する科目が本学で開講されている場合

〈単位認定可否〉本学の科目に読み替えて単位が認定されます。なお、認定された単位は卒業要件に含まれます。

〈認定単位数〉最大 60 単位を上限として認定します。

(2) 当該科目に相当する科目が本学で開講されていない場合で、かつ、本学の教育課程（カリキュラム）を補完し、本学の教育課程の幅を広げるのに有益な科目の場合

〈単位認定可否〉他大学の科目名をもって本学の「全学共通科目」または「専門科目」として単位が認定されます。なお、認定された単位は卒業要件に含まれます。

〈認定単位数〉最大 14 単位を上限として認定します。

7. GPA 制度

GPA (Grade Point Average) 制度とは、科目ごとの成績評価を点数にかえて、全履修科目の平均を算出するものです。GPA によって自分の学修成果を自分自身で把握することができるメリットがあり、本学では科目の履修にあたって、ただ卒業するのに必要な単位を取得するのではなく、学生が主体的にかつ充実した学修成果をあげることを目的としてこの制度を導入しています。また、GPA は学内の様々な選考の指標となり、場合によっては、履修指導や退学勧告を受けることがありますので、自分の GPA を常に意識し、学修計画を立ててください。

(1) 成績評価と GP

素点	評価	GP
90 点～100 点	A+	4 点
80 点～89 点	A	3 点
70 点～79 点	B	2 点
60 点～69 点	C	1 点
0 点～59 点	D	0 点
欠席・棄権	K	0 点
失格	S	0 点

(2) GPA 制度の対象科目

【対象となる科目】履修登録した全科目

【対象とならない科目】評価を示さず、認定によって単位を修得した科目

(3) GPA の計算方法

【GPA の計算方法】(履修登録単位数×GP) の合計 ÷ 履修登録単位数の合計 = GPA

【運用例】

科目名	履修登録単位数(a)	素点	評価	GP(b)	a×b
基礎演習 I	2	90	A+	4	8
●●学	2	70	B	2	4
●●論	2	50	D	0	0
●●演習	1	80	A	3	3
●●論	2	欠席	K	0	0
合計	9				15
平均					1.7

※上記太枠が、GPA となります。

8. 実践英語科目の履修

実践英語科目の履修にあたっては、以下の内容を十分に理解したうえで履修登録や各種手続きを行ってください。不明な点があれば、教務課までお問い合わせください。

<履修のしかた>

1 年生前期は全員がレベル I (Speaking & Listening I, Reading I, Grammar I, Writing I) を履修します。1 年生後期以降は自分で履修登録をしてください。

<成績評価>

全学共通科目・専門科目と同じ基準です。(「<表 1>成績評価の基準」参照)

<履修上の制限>

下位レベルの単位を修得していないと上位レベルの履修ができない等の制限はありません。

同一科目同レベルの受講は 3 回までとする等の制限もありません。

<卒業要件>

実践英語科目の卒業要件単位数は、必修科目 (Speaking & Listening III, Reading III, Grammar III, Writing III) 8 単位を含めて 24 単位です。24 単位を超えて単位を修得しても卒業要件には含まれないので注意してください。

経営学部国際ビジネス学科 卒業要件

<2018年度入学生適用>

授業科目群		必修	選択必修	選択	卒業要件単位数	
全学共通科目	東邦基礎力科目	8単位	-	20単位以上	32単位以上	
	教養科目	2単位	-			
	スキル科目	外国語科目	-			-
		コミュニケーション科目	-			-
		コンピュータ科目	2単位			-
キャリア支援科目	-	-				
実践英語科目		8単位	-	16単位以上	24単位以上	
専門科目	基礎科目	12単位	-	28単位以上 または 32単位以上	68単位以上	
	基幹科目	4単位	4単位			
	展開科目	-	-			
	関連科目	-	4単位			
	発展科目	8単位	8単位 または 4単位			
合計		44単位	16単位 または 12単位	64単位以上 または 68単位以上	124単位以上	

<2016~2017年度入学生適用>

授業科目群		必修	選択必修	選択	卒業要件単位数	
全学共通科目	東邦基礎力科目	8単位	-	20単位以上	32単位以上	
	教養科目	2単位	-			
	スキル科目	外国語科目	-			-
		コミュニケーション科目	-			-
		コンピュータ科目	2単位			-
キャリア科目	-	-				
実践英語科目		8単位	-	16単位以上	24単位以上	
専門科目	基礎科目	12単位	-	28単位以上 または 32単位以上	68単位以上	
	基幹科目	4単位	4単位			
	展開科目	-	-			
	関連科目	-	4単位			
	発展科目	8単位	8単位 または 4単位			
合計		44単位	16単位 または 12単位	64単位以上 または 68単位以上	124単位以上	